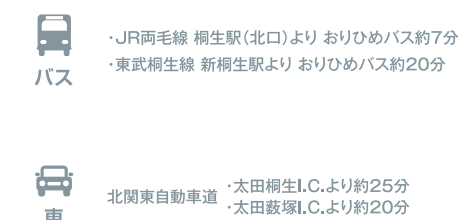
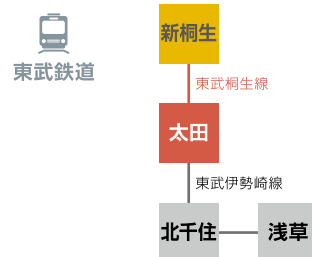
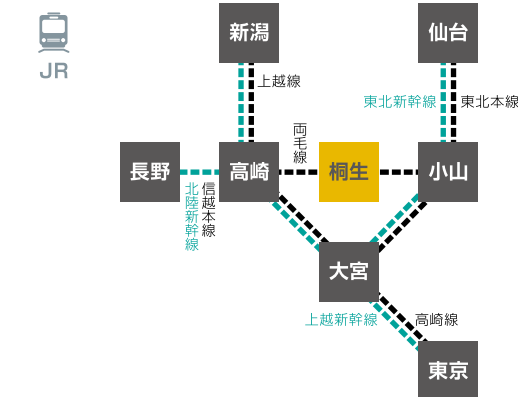


ACCESS



・太田駅より 徒歩約10分
市立太田小学校となり

理工学部HP



SNSでも群馬大学理工学部の入試情報等を配信中!

群馬大学理工学部広報
@stgunmau_kouhou
https://x.com/stgunmau_kouhou



群馬大学
gunma_univ
https://www.instagram.com/gunma_univ/



〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1 TEL.0277-30-1895 <https://www.st.gunma-u.ac.jp/>

国立大学法人
群馬大学
理工学部
大学院理工学府

GUNMA UNIVERSITY
SCHOOL OF SCIENCE AND TECHNOLOGY
GRADUATE SCHOOL OF SCIENCE AND TECHNOLOGY

GUIDE
BOOK
2026



国立大学法人

群馬大学
理工学部
大学院理工学府



この手に、 未来をつくるテクノロジーを。

In your hands, technology that creates the future.



学部長 メッセージ Message



群馬大学理工学部長
石間 経章

地域に根差した経験により自身の基盤を築き その手で未来をつくり出す「挑戦者」になってください

群馬県桐生市はかつて繊維産業で栄えました。本学部は、110年前に地場産業の発展を強く願った桐生市および群馬県の有志を中心に設立された「桐生高等染色学校」が起源です。時がたち、数度の改組を経て群馬大学理工学部となりましたが、設立当初より受け継ぐ産学連携や地域活性化を目指した教育・研究の理念に変わりはありません。地域の課題は日本、ひいては世界の課題と捉え、桐生から全国に本学部の技術と情報を発信し、世の中を未来に進めるための技術を提供できる大学でいたいと考えています。

グローバルの世界となった今、自身が育った地域や学んだ地域での経験を基に自分の価値を自分で作り上げることが、世界で活躍するために必要です。本学部ではPBL教育等を通じて、群馬および日本の産業構造を理解する力を育てることを目指しています。研究力は日本の根幹をなすものです。研究活動は常に挑戦を伴います。研究活動を通して、新たな発見や新たな技術を生み出してください。それらの成果は「学生の皆さんの未来」と「未来の世界／世界の未来」をつくるものです。

本学部を目指す高校生の皆さん、将来研究をするにあたって、「先輩が失敗したこと」や「誰もできなかったこと」にも挑戦してみましょう。未知への挑戦は、本学部の気質でもあります。皆さんの自由な研究活動を通して、充実した大学生活を送ることができるよう、私たちが全力で支えます。

数字で見る 群馬大学理工学部

SCHOOL OF
SCIENCE AND TECHNOLOGY
GUNMA UNIVERSITY
in Figures

学生数 (2025年4月1日時点)
学部生

2,033名

院生
745名



入学生の男女比
(2025年度)

理工学部全体 (487名)

女 27.3% (133名) ※1
男 72.7% (354名)

教員1人あたりの
学生数 ※2
約 3.0名



就職決定率
(2024年度 ※9月卒業生を含む)

学部卒 99.6%
院卒 100%



企業との
共同研究数
(2024年度)

153件

学生の
学会受賞数
(2024年度)

84件



留学生数
(2024年度)

169名



※1 参考：OECD加盟国の高等教育機関に入学した女性の割合（2019年）＝工学16%
※2 学部定員470人÷教員157人

CONTENTS

- 01 数字で見る群馬大学理工学部
- 02 卒業生の活躍
- 04 学部概要
- 05 各類の概要
- 06 各プログラムの概要
- 08 8プログラムの魅力

- 09 群大理工の特色ある教育
- 10 大学院紹介
- 11 内定者・進学者たちの声
- 12 次世代自動車技術研究講座の紹介
- 13 入試情報
- 13 オープンキャンパス情報

Graduate Message

未来をつくる
テクノロジーと共に歩む

群大理工で基礎となる力を付け、
社会に出てさらにスキルを磨きつつある先輩たち。
どんな思いを持ちながら、
どんな日々を過ごしているのか、
大学時代の経験が今にどう活かされているのか、
リアルな声を聞いてみよう。

モノづくりのスキルを磨き
世界中の人々に届くような車を作りたい

子どもの頃から車が好きでした。在学中にスバルとの共同研究に携わったこと、就職活動の中でスバルの車づくりに対する考え方に魅力を感じたことなど、複数の要因が重なり、スバルへの入社を希望しました。

在学中は勉学に励むとともに、群馬大学を受験するきっかけにもなったGFL*を通じて留学や早期からの研究活動などに取り組みました。その結果、語学力や国際的視野、コミュニケーション力、組織運営の視点などが身につきました。大学時代の仲間とは、今でも切磋琢磨しあえる関係が続いています。

現在、運転支援システム「アイサイト」の開発に携わっています。群馬大学で得た経験、学んだ知識、技術が日々の業務に直接つながっています。チームメイトや同僚と一緒に目標を達成し、すばらしい製品を生み出すことに喜びを感じます。任された仕事を着実にこなすことで一つの機能を開発できる技術力を身につけ、新たな技術にも挑戦していきたいです。モノづくりの過程をしっかり学び、チームをまとめるリーダーになることを目指しています。

※GFL：グローバルフロンティアリーダー育成コース
(詳しくはp.9を参照)

株式会社SUBARU ADAS開発部

三上 凌さん 〈2024年3月修了〉
理工学部 電子情報理工学科 電気電子コース (現：電子・機械類 知能制御プログラム)
大学院理工学府博士前期課程 電子情報・数理教育プログラム (現：知能制御プログラム)

大学での土木の学びを活かせる職業として
県の職員を選びました

現在の職場では、道路などの維持補修業務を担当しています。県庁勤務の場合、一つの分野(例えば「道路」「河川」「砂防」など)に特化した業務を行いますが、土木事務所などの地域機関では、幅広い分野の業務を担当することができます。仕事では、道路利用者や地域の方の意見を直接伺う機会も多く、自分では気付くことができない危険な箇所などを指摘していただくこともあるため、常に視野を広く持つように心掛けています。

在学中を思い返すと、測量実習を大学近傍の桐生川で行ったことが印象に残っています。公務員の仕事は、デスクワークが多いと思われがちですが、工事の現場に行くこともあるため、実習で身につけた技術がそのまま仕事に役立っていると実感します。

大学で得た知識を活かしたいと思い、現在の職業を選びました。今後は、社会人として積み重ねたことも活かしながら、多様化している地域課題に対応していくために必要な施策等に挑戦していきたいです。

群馬県 太田土木事務所 計画調整係 副主幹
村上 布佑子さん 〈2008年3月卒業〉 (2025年3月時点)
工学部 建設工学科 (現：物質・環境類 土木環境プログラム)

多くの疾患にも関わる「糖鎖」の研究で
社会に貢献する成果を出し続けていきたい

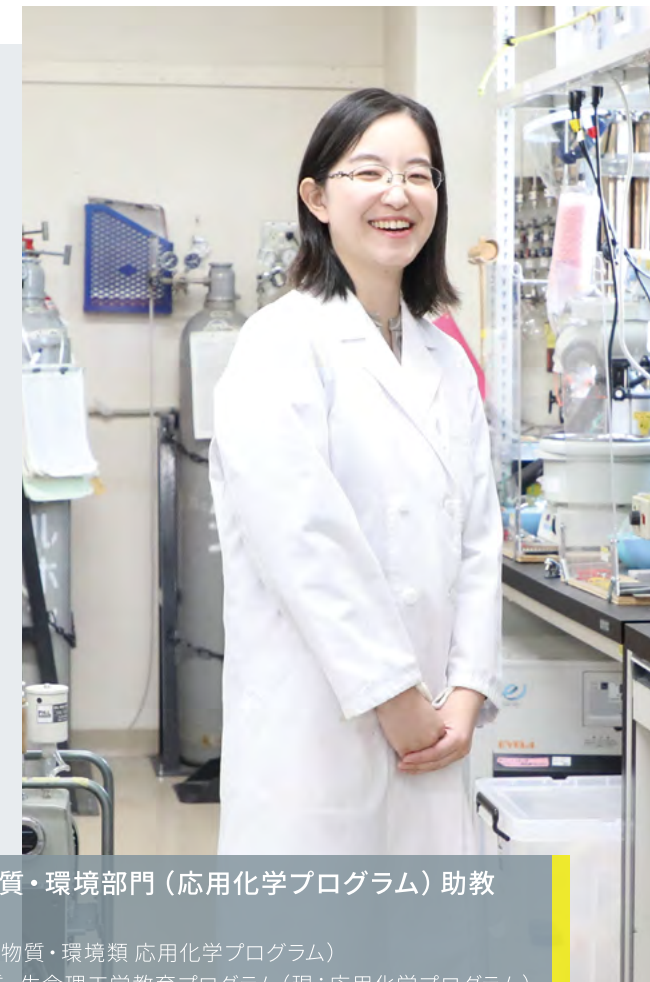
大学時代、病気や薬の研究に興味を持ち、生体分子である「糖鎖」を研究する研究室に所属していました。今までにない化合物を作ったり、新たな発見ができたりする研究活動の魅力に触れ、研究者の道に進むことを決めました。

現在は、研究活動と学生教育をメインの業務としています。研究者としては、糖鎖の体内での働きや病気との関わりについて調べ、学生とともに実験を行い、成果を学会や論文で報告しています。学生教育の面では、学部生の実験と専門英語の講義、研究室配属の学生・院生の実験指導を行っています。

大学時代に、化学に加えて生物学や物理学など幅広く勉強し、それが研究者としての基礎になっています。研究室ではプロジェクトを遂行するための考え方や取り組み方を学ぶとともに、学会に積極的に参加してプレゼンテーション力を磨きました。学会は多くの研究者と知り合う場でもあり、博士号を取得した後で留学先となった研究室の先生と初めてお会いしたのも学会でした。この出会いのおかげで博士研究員として留学できたことは、とても良い経験でした。

群馬大学大学院理工学府 物質・環境部門 (応用化学プログラム) 助教

石井 希実さん 〈2018年3月修了〉
工学部 応用化学・生物化学科 (現：物質・環境類 応用化学プログラム)
大学院理工学府 博士前期課程 物質・生命理工学教育プログラム (現：応用化学プログラム)
大学院理工学府 博士後期課程 物質・生命理工学領域



群大理工とは

群大理工が目指すもの

- 幅広い学びと力強い実践力の養成
- 実社会で活躍できる人材の輩出



3つの特徴

分野にとらわれない 幅広い学び

入学時は「類」に所属し、2年次以降により詳細な専門（プログラム）を選択します。これにより、理学的知識・感覚と、工学的応用力・発想力に加え、従来の「分野の枠」にとらわれない俯瞰的視野を身につけます。

企業と連携して 実践力を養う 問題解決型授業

2年次に「課題発見セミナー」を実施し、企業見学・就業体験などを通じて課題を抽出。その後、4年次の「課題解決セミナー」にてグループワークを実施し、社会で求められる実践的課題解決能力を養います。

教員がプログラム選択や 履修をサポートする メンター制

1年次から、各学生に対しメンター教員（相談役・世話役）が付き、マンツーマンで指導に当たります。プログラム選択や履修、進路に関することなど、さまざまな相談をすることができます。

「類」制度 について

「類」とは、理工学を学ぶための“基礎となる大きな枠組み”です。学問分野の壁にとらわれずに幅広く教育を行い、今後求められる「持続可能な社会」や「高度情報社会」の基盤となるモノづくりを担う人材を育成します。

「類」制度の魅力

分野を限定しない
幅広い学びを
基礎とすることで
「応用」に強くなる

自分の興味の方向性が
より明確になり、
専門選択の
ミスマッチを抑制

4年間の幅広い学び

1年次	教養教育理学系基礎	
2年次	基礎科目 【物質・環境類】2年次後期から、各プログラムに分かれます	課題発見 セミナー
3年次	【電子・機械類】3年次前期から、各プログラムに分かれます 展開科目	専門的な科目
4年次	プロジェクト 参加研究	課題解決 セミナー

物質・環境類

〔定員 285名〕



類紹介PV

化学・生物、食品、材料、環境、土木

新技術が豊かな社会を築く

物質・環境類は5プログラムから構成され、持続可能な社会を支えるための基礎となる化学・生物・物理を融合した科学技術について、幅広く学べます。

物質・環境類では、このような領域を俯瞰的に理解し実践力を持った人材を輩出するため、化学・物理学・生物学を共通の基盤とし、基礎から応用にわたる化学・生物化学・食品科学や、超スマート社会を牽引する先端材料、CO₂削減・エネルギー利用に資する効率的な発電デバイスや生産プロセス、安全・安心な自然環境や社会基盤、地域の環境制御など、社会・産業の基盤となる科学技術教育を行います。

KEY WORD 持続可能な社会

地球環境と人間が共存し、将来の世代も現在と同じような暮らしを持続できる社会のこと。

理工学部
HP
類トップ



電子・機械類

〔定員 185名〕



類紹介PV

電気・電子、機械、情報、制御

先進技術で未来を設計する

電子・機械類は3プログラムから構成され、Society5.0を支えるモビリティ、IoTやロボットなど、物理・数学を基礎とした科学技術について幅広く学べます。

電子・機械類では、俯瞰的な理解と実践力を持った人材を輩出するため、物理学・数学・化学を共通の基盤とし、電気電子工学の基礎となる電磁気学・電子回路・電気回路や、機械工学の基礎となる機械力学・材料力学・流体力学・熱力学を学びます。それらに加えて、制御工学・計測技術・画像計測・情報工学などの科学技術教育を行います。

KEY WORD Society5.0

「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」と定義されます。その未来像は、「持続可能性と強靭性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人ひとりが多様な幸せ(well-being)を実現できる社会」として描かれます。(参考:内閣府ホームページ)

理工学部
HP
類トップ



物質・環境類

CLUSTER OF MATERIALS AND ENVIRONMENT

取得できる・受験資格が得られる資格

- 技術士補
- 測量士補
- 測量士
- 毒物劇物取扱責任者
- 廃棄物処理施設技術管理者
- 危険物取扱者(乙種)
- 危険物取扱者(甲種)
- 甲種・乙種火薬類取扱保安責任者
- 甲種・乙種火薬類製造保安責任者
- 丙種火薬類製造保安責任者
- 高圧ガス製造保安責任者(甲種化学)
- 作業環境測定士
- 第二種冷凍空調技士
- 第一種冷凍空調技士
- 衛生工学衛生管理者
- 浄化槽検査員
- 土木施工管理技士
- 溶接管理技術者
- 建設機械施工技士
- 建築施工管理技士

教員・研究紹介▶



※履修科目により取得できる資格は異なりますのでご注意ください。
※土木環境プログラムはJABEE認定プログラムであり、本プログラム修了者は技術士第一次試験が免除となります。

物質および生命科学について探究する 応用化学プログラム

詳細は
コチラ▶



POINT

- ◎化学分野で従来から行われてきた分子レベルの物質科学の研究に加え、生命現象の解明や新薬の開発などの生物科学の研究を融合
- ◎化学と生物に関する知識・理論を基盤として、新反応開発に基づく有用物質の創製、物質の構成原理と物性の解明、生命現象に関わる生理活性物質の機能解明などに携わり、国際社会で活躍する未来の技術者・研究者を育成

こんな人におすすめ

- 身の周りの化合物がどのように作られているのか気になる
- 生命現象、医薬品に興味がある

食品機能を理解し、生産工学を学ぶ

食品工学プログラム

詳細は
コチラ▶



POINT

- ◎理工学系で食品の科学と工学を学べる、全国でも数少ないプログラム
- ◎食品を科学的に理解し、これを食品開発に反映させ、さらに食品生産および海外も含めた流通に寄与できる人材を育成
- ◎群馬大学大学院「食健康科学研究科」2025年4月新設

食健康科学研究科の
詳細はコチラ▶



こんな人におすすめ

- 安全で安心な食品がどのように生産されるか気になる
- 将来、食品や化粧品、化学工業の分野で活躍したい

「素材」から製品開発にアプローチする

材料科学プログラム

詳細は
コチラ▶



POINT

- ◎化学に基づく物質科学、物理学に基づく金属工学、力学系関連学を学び、各種の工業材料・製品のデザイン・開発ができる技術者・研究者を育成
- ◎医療機器、環境浄化装置、電子通信機器、エネルギー変換デバイス、次世代輸送機器、社会インフラを支える先端材料を開発できる人材の育成

こんな人におすすめ

- 工業材料・製品の設計開発に興味がある
- より便利で環境にやさしい材料を創り出したい

「物質」と「エネルギー」について考える

化学システム工学プログラム

詳細は
コチラ▶



POINT

- ◎物質とエネルギーの移動現象・変換を量的・システム的に学ぶ
- ◎新技術に関わる物質・材料の性質や特性および環境にやさしい技術を学ぶ
- ◎現実の社会に役立つモノづくりを支える人材を育成

こんな人におすすめ

- 環境に配慮したクリーンなエネルギー・製品を創り出したい
- 物質表面のナノ・分子プロセスを制御して環境にやさしいものづくりをしたい

防災や社会基盤整備の知識と技術を学ぶ

土木環境プログラム

詳細は
コチラ▶



POINT

- ◎地域の防災安全性の向上および自然環境との調和をはかりながら、種々の社会基盤施設を計画・設計・施工・維持管理する人材を育成
- ◎環境に配慮したシステムの構築を学び、卒業後は地域の安心・安全なまちづくりに貢献する公務員(土木職)、および民間企業のエンジニアとして活躍できる

こんな人におすすめ

- 災害の仕組みや防災・減災に興味がある
- 橋などの大きな土木構造物の建設・維持管理に興味がある

電子・機械類

CLUSTER OF ELECTRONICS AND MECHANICAL ENGINEERING

取得できる・受験資格が得られる資格

- 技術士補
- 三級自動車整備士
- 二級自動車整備士
- 一級自動車整備士
- 二級ボイラー技士
- 一級ボイラー技士
- 特級ボイラー技士
- 危険物取扱者(乙種)
- 作業環境測定士
- 第二種冷凍空調技士
- 第一種冷凍空調技士
- 衛生工学衛生管理者
- 浄化槽検査員
- 溶接管理技術者

教員・研究紹介▶



※履修科目により取得できる資格は異なりますのでご注意ください。
※機械プログラムはJABEE認定プログラムであり、本プログラム修了者は技術士第一次試験が免除となります。

機械とDX・GXを融合し、 人類の根源的な課題に切り込む

機械プログラム

詳細は
コチラ▶



POINT

- ◎モノづくりの基盤となる機械工学全般(機械・材料・熱・流体力学や加工など)と、それらとAI・DX・GX技術を融合することで新しい情報化機械・知能化機械を創造し、その社会実装までをも含む広範な学問領域について学ぶ
- ◎カーボンニュートラル実現のための次世代エネルギーシステム、子どもや高齢者にやさしいモビリティと交通システム、強靱・超軽量なスマートマテリアルと極限微細加工技術、安全・安心な暮らしを実現する社会安全技術の研究開発など、人類の根源的な課題の解決に向けてあらゆる角度から研究を展開

こんな人におすすめ

- 実際の社会で役に立ついろいろなものを開発・創造できるようになりたい
- 自動車、飛行機などの乗り物が好き

各種制御技術による 未来の創造を目指す

知能制御プログラム

詳細は
コチラ▶



POINT

- ◎超スマート社会を創造するAI・IoTによるエネルギー制御技術に加えて、各要素技術を調和的に統合するシステムデザインについても学ぶ
- ◎各領域の融合分野となる、知能制御分野で幅広く活躍できる人材を育成

こんな人におすすめ

- 複数の技術分野を活用して役に立つものを作ってみたい
- 考えること・発明することが好き

情報化社会を牽引する 知識・技術を修得

電子情報通信プログラム

詳細は
コチラ▶



POINT

- ◎日進月歩で進展が続く電子情報通信技術をベースとするモノづくりや、新規の治療手段として近年注目される重粒子線などの量子ビーム技術、AI技術ほか最先端技術の利活用を学ぶ
- ◎最先端の計測技術や通信技術を武器として、電子機器や医療機器、電子材料、IoTシステム開発などの分野で活躍できる人材を育成

こんな人におすすめ

- 半導体や集積回路・コンピュータなどの電子デバイスや電子機器をよりよくしたり、全く新しいものにしてみたい



応用化学プログラム

授業や実験を通して、化学や生物に関する専門的な知識が身につきます。個人的には、実験でさまざまな化合物を合成できることが本プログラム最大の魅力だと感じます。将来は化学系や製薬系の企業で、研究や開発の仕事に携わりたいです。海外で働くことも視野に入れています。

中山 颯人さん
高崎市立高崎経済大学附属高等学校 出身



食品工学プログラム

食品原料の栄養に関してはもちろん、発酵、衛生、微生物やプラスチックといった高分子化合物など、食品とつながりのあることを幅広く学修します。身近で毎日関わりのある食品にまつわることを学ぶため、多くの気付きがあります。大学院で、学部での研究を深めていきたいです。

高井 彩優さん
群馬県立館林女子高等学校 出身



材料科学プログラム

身の周りにあるあらゆるものの元になっている「材料」について学びます。自分が特に注目しているのは「マルチマテリアル」、簡単に言えば、材料を適材適所で使えるようにすることです。新たな素材や利用法が、新たな世界をつくりだす可能性がある。そこにロマンを感じます。

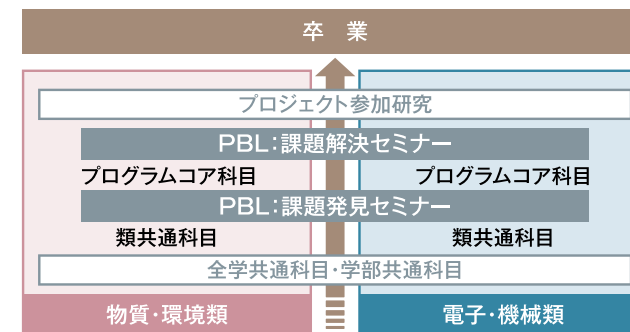
岩崎 圭汰さん
群馬県立太田高等学校 出身

LEARNING FEATURES 群大理工の特色ある教育

POINT
1

PBL教育 (Project/Problem Based Learning)

PBL (Project/Problem Based Learning) とは、学生自らが課題を見つけ、解決する過程で、さまざまな力を醸成するアクティブラーニング(能動的な学び)です。
2年次の「課題発見セミナー」(必修)では、企業見学・就業体験などを通じて、実社会の活動における課題を自主的に把握することを目指します。2024年度は、桐生市を中心とした群馬県内の企業など約80社と連携し、実践的なセミナー形式で学習を行いました。
4年次の「課題解決セミナー」(必修)では、2年次の経験を活かして課題解決の方法を学ぶほか、グループワークを実施。グループはプログラムや類を横断するメンバーで構成され、ディスカッションやワークを通じて社会で求められる「分野を超えた実践的課題解決能力」を身につけます。




化学システム工学プログラム

エネルギーの有効利用や環境問題に関する知識・技術を体系的に学びます。エネルギー利用や物質生産に不可欠な化学工学関連の講義に加え、新材料の開発・理解に重要な材料科学に関する講義も充実。将来は、世界のエネルギー・環境問題を解決へと近づける人材になりたいです。

篠原 菜緒さん
栃木県立栃木女子高等学校 出身

STUDENT'S VOICES 在学生在語る！ 8プログラムの魅力



土木環境プログラム

土木工学、都市計画、環境工学など分野を横断した知識が修得でき、実践的な学びや先進的な技術に触れます。土木特有のスケールの大きい研究・実験が好きです。大学での学びを活かして、将来は、社会インフラを担う仕事や、地域の暮らしに貢献できる仕事がしたいです。

山口 快斗さん
伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 出身

POINT
2

医理工グローバル フロンティアリーダー (GFL) 育成コース

理工学部においては、国内外の企業・研究機関の開発・研究職において独創性を持ったリーダーとして研究を展開し活躍できる人材の育成を目的に、医学部と連携して「医理工GFLコース」を実施しています。理工学部からは16名程度を選抜し、外国人研究者等との交流の機会をつくるなど国際コミュニケーション能力を育成するとともに、早くから先端研究に接する機会を用意します。



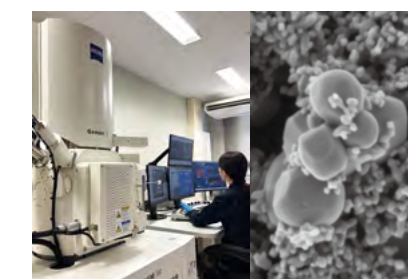
GFL 育成コース
について
詳しくはコチラ



POINT
3

マイスター育成プログラム

機器分析センターには多くの先端分析機器が設置され、400名以上の4年生・大学院生がそれらを利用して最先端の研究・開発に励んでいます。マイスター育成プログラムは、2年次と3年次の2年間で、先端分析機器を使いこなす力を身につけるだけでなく、複雑な問題を解き明かす分析的思考力を養い、研究・開発・地域貢献に活躍できる人材を育成します。



マイスター育成
プログラム紹介




機械プログラム

子どもの頃に夢見た、宇宙へも行ける飛行機や宙に浮くクルマを実現できるようなエンジニアになりたいです。現在はアンモニアエンジンの研究に取り組んでいます。機械プログラムは、実践的な授業が多いことや、機械に関わる全てを網羅する形で学べる点が大きな魅力です。

三野 真樹さん
群馬県立桐生高等学校 理数科 出身



知的制御プログラム

4大力学や電気電子回路、制御工学、電磁気学等の基礎に加え、CADによる設計からフライス盤や3Dプリンタを用いた加工まで幅広く学べます。そのため、プログラム所属後も、自分がその先深く取り組みたい分野を探す機会に恵まれており、その点も本プログラムの特徴だと感じます。

宮下 菜実さん
栃木県立真岡女子高等学校 出身



電子情報通信プログラム

スマホやAIのような、誰もが簡単に便利に扱えるものの裏側では、膨大なデータのやりとりや複雑な処理が行われています。そうした技術について基礎から応用まで学べることが本プログラムの魅力です。将来は、確かな知識と倫理観を持ったエンジニアとして社会に貢献したいです。

増田 裕一さん
獨協埼玉中学高等学校 出身

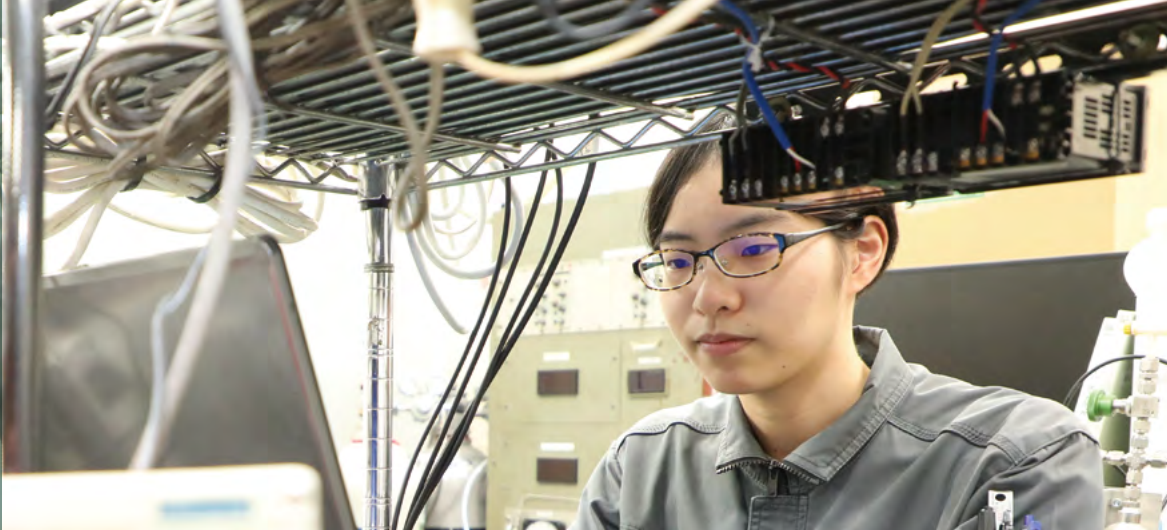
TOPICS

グローバル人材につながる実践 海外留学 (交換留学／短期語学研修)

大学間協定および学部間協定を締結した機関と連携し、留学生の受け入れと、本学学生の派遣を行うことで、活発な大学間交流が行われています。特にオーストラリアのディーキン大学においては、理工学部から毎年10名程度を派遣しており、継続的な交流が行われています。



大学院理工学府では、学部で得た知識を活かし、より深めるとともに、俯瞰的なものの見方を養い、実践力を強化し、新しい技術を生み出すための総合的な力を養います。



博士前期課程（修士課程）

俯瞰的視野に基づく総合的実践力の育成

多様化・複層化が進展する産業活動における諸課題に対して、俯瞰的なものの見方ができるとともに、総合的な実践力・独創力を発揮して社会からのニーズに応えることのできる高度理工系専門人材を育成することを目的としています。

【理工学専攻】

- 応用化学プログラム
- 材料科学プログラム
- 化学システム工学プログラム
- 土木環境プログラム
- 機械プログラム
- 知能制御プログラム
- 電子情報通信プログラム

博士後期課程（博士課程）

課題解決に向けた実践力・独創力の育成

前期課程で培った素養と能力をベースとして、より高度な知見と実力を養います。具体的には、より実践的な環境における幅広い知識の修得や、部分でなく全体を見渡すことのできる俯瞰的かつ広い視野、課題解決に向けた実践力を涵養し、社会の革新・成長を牽引するリーダーとして各分野で活躍できる高度な研究開発人材を養成します。

【理工学専攻】

- 物質・生命理工学領域
- 知能機械創製理工学領域
- 環境創生理工学領域
- 電子情報・数理領域

就職率99%！充実のキャリア支援 ※最近5年平均

学部1年次	学部2・3年次／修士1年次	学部4年次／修士2年次	就職・進学
キャリア計画	インターンシップ	就職活動指導	
キャリア設計	進路指導	進路指導	
○職業観・勤労観の育成 ○社会人へ向けた自覚の形成 ○専門教育の意味付け	○社会的に必要な能力、実践的な能力の育成 ○キャリアデザイン支援		

修士課程 主な就職先（2024年度）

応用化学プログラム	科研製薬、サンデン、信越化学工業、太平洋セメント、太陽誘電、トピー工業、日東電工、浜松ホトニクス
材料科学プログラム	SMC、川崎重工業、キャノン、信越化学工業、SUBARU、積水化学工業、日亜化学工業、日本板硝子、日立製作所、ミネベアミツミ、ルネサスエレクトロニクス
化学システム工学プログラム	クラレ、太平洋セメント、太陽誘電、東京電力ホールディングス、日産化学、古河電気工業、マックス
土木環境プログラム	大林組、鹿島建設、大成建設、東京電力ホールディングス、東日本旅客鉄道、三井化学 国土交通省、群馬県、足利市、前橋市
機械プログラム	いすゞ自動車、SMC、荏原製作所、川崎重工業、小松製作所、ジャパンマリンユナイテッド、SUBARU、セイコーエプソン、ニコン、日本精工、富士電機、本田技研工業
知能制御プログラム	沖電気工業、小松製作所、スズキ、SUBARU、TDCソフト、東京エレクトロン、東芝、トヨタ自動車、日本精工、富士電機、本田技研工業
電子情報通信プログラム	沖電気工業、信越化学工業、セイコーエプソン、日本電気（NEC）、東日本旅客鉄道、富士通、本田技研工業、LIXIL

※企業は50音順で掲載しています。 ※旧プログラム体制の進路データ・就職先を新プログラムに算入しています。

Dreams and Goals

希望を胸に歩きだした内定者・進学者たちの声

夢は、環境性能と経済性能の両立を追求したディーゼルエンジンの開発です。

東日本大震災の際、小売りの現場に商品やガソリンが届かない状況を経験し、物流を担うトラックの重要性を感じたことから、技術者の立場で物流を支えたいと就職先を決定しました。開発部署への配属が決まっており、自動車エンジンについて研究してきた経験を活かして仕事に取り組みたいと考えています。本学は、1～3年次に幅広い分野の基礎が学べ、4年次以降は研究室活動がメインとなります。研究室での試行錯誤の中で課題解決能力と論理的思考力が身につき、共同研究先への進捗報告や教授とのディスカッションを通じてプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力が磨かれました。これらは就職活動において高く評価されました。今後は社会に幅広く恩恵をもたらすことのできるエンジニアを目指します。

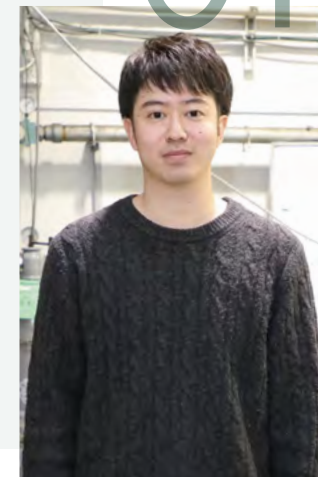
内定先：いすゞ自動車株式会社

星野 光希さん（福島県立安積黎明高等学校 出身）

知能機械創製理工学教育プログラム（現：機械プログラム） 2025年3月修了

Dreams and Goals

01



Dreams and Goals

02



会社組織の一員として貢献できるよう、早く仕事を覚え、着実に役割をこなしたい。

内定先企業のインターンシップに参加して社員の方たちの誠実な姿に感銘を受け、「この会社に入社したい」と思いました。一緒に参加していた他大学の人も真面目で優秀な方が多く、刺激になりました。大学での研究生活を通して身についたのは、何と言っても「努力する習慣」だと思います。研究は、ただ実験をして結果を得れば良いわけではなく、時には勉強することや、考察を深めることも必要です。手探りで進めることも多く、そんな場合には、研究活動に向き合う時間を最大限に確保して取り組み、上手いくまで実験を繰り返しました。意識していたのは目的を明確にすること、PDCAサイクルを回しつつ着実に前進することです。こうした研究に対する姿勢は、内定先にも評価いただけたと思っています。

内定先：中外製薬工業株式会社

松本 唯さん（共愛学園高等学校 出身）

物質・生命理工学教育プログラム（現：応用化学プログラム） 2025年3月修了

豊富な知識・技術と統率力を持ち、新たなことに挑戦し続けられる人材に。

修士課程（博士前期課程）での学びにおいて知識不足や経験不足を痛感し、さらに研鑽を積みたいと考え、博士後期課程への進学を決めました。信頼する指導教員と多彩な才能を持った学生たちが在籍する研究室で、夢中になれるテーマに引き続き取り組めることは大きな喜びです。大学生活を通して、モノづくりの奥深い面白さ、そして難しさが分かってきました。座学も製図も実験も工作も決して楽ではありませんが、理解できたときや期待した結果が得られたときの達成感は何物にも代えがたいです。博士後期課程ではこれまで以上に知識や技術を身につけ、達成感を自信に変えていけたらと考えています。将来は研究職に就き、可能であればエンジンに関わる仕事をしていきたいです。

進学先：群馬大学大学院理工学府理工学専攻知能機械創製理工学領域（博士後期課程）

市川 彩さん（群馬県立富岡高等学校 出身）

知能機械創製理工学プログラム（現：機械プログラム） 2025年3月修了

Dreams and Goals

03





「未来が求める自動車技術」

「もっと笑顔で
もっと安心な、
楽しい生活を人々に
もたらすクルマ」
を追求



詳しくはWEBを
ご覧ください



を創出するためのイノベーション拠点

最先端の“その先”を行く自動車技術創出を目指し、
群馬大学とSUBARUが協働して設置、運営しています。
※本講座には電子・機械類の学生・院生が所属できます。

研究テーマ



空力研究プラットフォームの
構築と現象解明

小型低乱風洞を独自に開発。メカニ
ズムが未詳の空力現象に着目し、実
験的アプローチによる計測と解析技
術から現象解明することで設計プロ
セスを改革しています。



ヒトとクルマの
コミュニケーション

安心して運転できる環境をつくるた
めに、運転者と車の間の自然なコミュ
ニケーションの実現を目指し、ドライ
ビングシミュレータ、VR表示による情
報提示等の研究を行っています。



ローカル5G通信網を
活用した自動運転技術の開発

高速な通信ネットワークにつな
がれたクルマだからこそ実現できるシ
ステムや技術についての提案・構築を
行い、クルマと社会に関する“新しい
価値”を創出しています。



CRANTS[※]を
活用した実車評価

実車の性能評価、ドライバーの運転
行動の計測など、机上検討やシミュ
レーションに基づく仮説に対し、実車
走行による評価・検証をしています。

※CRANTS:
群馬大学の次世代モビリティ社会実装研究センター

STUDENT'S VOICE

研究成果で社会に貢献できるよう、
整備された環境の中で意欲的に学んでいます。



細井 峻太郎さん
電子・機械類
機械プログラム
小山工業高等専門学校 出身

もともと自動車の研究に興味があり、
開発現場で働く企業の方と交流でき
ることや、他のプログラムの学生と一緒に
研究できる点に惹かれて本講座に参加
しました。自動運転や遠隔運転に関
する研究を行っています。プログラミング
や通信技術、3次元CADについて詳
しくなりました。研究を通して知らな
かったことを知り、分らなかったことが
理解できると、興味関心やモチベー
ションがさらに高まります。ここでの経験
を就職にも活かしていきたいです。

先生方のサポートを受けつつ、
学生主体で試行錯誤しながら成果を出していきます。



武井 優人さん
大学院理工学府
知能機械創製理工学教育プログラム
(現:知能制御プログラム)
群馬県立沼田高等学校 出身

運転中のドライバーの視界について研
究しています。実際の車やドライビング
シミュレータを使用し、ドライバーの視
線や体の動きを視線計測装置やモーシ
ョンキャプチャーを用いて計測して解
析を行っています。自分たちで実験環
境や解析プログラムを作り上げながら
研究を進めていくのがとても面白い
です。先生方から手厚い指導を受けら
れること、共同研究先から連携研究員
として来ている方など社会人との関わり
が多いことも、本講座の魅力です。

理工学部入試のPOINT

推薦の募集人員は、
選抜全体の約3割
(国立大学平均 13.4%※)

最大で3回受験ができる
推薦、一般選抜(前期日程)、一般選抜(後期日程)

一般選抜(前期日程)は
「東京試験場」でも受験可能

	総合型選抜(専門学科・総合学科)		学校推薦型選抜		一般選抜(前期日程)		一般選抜(後期日程)	
	募集人員	選抜方法	募集人員	選抜方法	募集人員	共通テスト	募集人員	共通テスト
物質・ 環境類	5	1次:書類審査 2次:面接 (口頭試問含む)	90	面接 (口頭試問含む)	162	国語 地歴・公民1科目 数学2科目 理科2科目 英語 情報 【6教科8科目】	28	国語 地歴・公民1科目 数学2科目 理科2科目 英語 情報 【6教科8科目】
電子・ 機械類	7		55		105	数学(I,II,III,A,B,C) 理科(「物基・物」,「化 基・化」から1つ選択) 英語	18	面接

総合型選抜
出願期間 9/1(月)~9/5(金)
試験日 第一次試験:書類選考
第二次試験:10/2(木)

学校推薦型選抜
出願期間 11/1(土)~11/7(金)
試験日 11/20(木)

一般選抜(前期日程)
出願期間 1/26(月)~2/4(水)
試験日 2/25(水)

一般選抜(後期日程)
出願期間 1/26(月)~2/4(水)
試験日 3/12(木)

- この表は分かりやすくまとめたものです。この他、総合型選抜(ITFL入試)、総合型選抜(外国人生徒等入試)、帰国生選抜および私費外国人留学生選抜があります。
- 詳しくは「2026年度 入学者選抜に関する要項」ならびに各入試別の「学生募集要項」で必ずご確認ください。
- ※文部科学省「令和7年度入学者選抜について」による

過去の
入試問題



受験生からの
よくある質問



群大理工
OPEN CAMPUS 2025.9.6^[土] 9.7^[日]
※各日、先着順にて要予約

群馬大学理工学部の在学生(学生広報大使)が企画から参加したイベントです。
理工学部の魅力を体感できるプログラムをたくさんご用意しています! ぜひご参加ください。

開催時間・プログラム等の詳細は
受験生応援サイトをご覧ください



<https://www.gunma-u.ac.jp/prospective/>

オープンキャンパスに関するお問い合わせ
群馬大学 桐生地区事務部事務課 庶務係広報担当
TEL.0277-30-1895 rikou-pr@ml.gunma-u.ac.jp

ACCESS MAP



JR両毛線 桐生駅(北口)より おりひめバス約7分
東武桐生線 新桐生駅より おりひめバス約20分

北関東自動車道
・太田桐生I.C.より約25分
・太田塚塚I.C.より約20分

